1/2/20 1 073 20 111/20														
事務事業	■サービス 音	■サービス部門 まち-01 都市政策事業												
No./名 称	口支 援 部	□支援部門												
主管課	ま	ちづくり政	策課	関連課										
分野名	ī	 方街化整位	備											
目標	ılı	九済ナシルナエ	環境の整備											
(目標値)	12	大胆な圧り	泉境の霊脯											
人口等の	データ区分	2	22年度	21年度				20年度	備考					
データ	人口	1	77,161人		'6,669人		176,484人			・各年4月1日				
	世帯数	78	,812世帯	78,	78,131世帯			77,430世帯	-	(住月	计本基为	(朝		
	事業の対象者数													
運営資源	決算値(千円)	8	311千円	8	60千円			1,132千円						
状 況	(国・県)													
	(負担金等)													
	(一般財源)	8	311千円		860千円			1,132千円						
	人員配置数		4.0人		4.0人			4.0人						
	人 件 費(千円)		,129千円		37,190千円			37,941千円						
	協働の		まちづくり市民団体		くり市民団に	<u> </u>	まちづくり市民団体							
	パートナー													
事務事業	総事業費(千円)	37	,940千円	38,	38,050千円			39,073千円						
運営経費	市民1人当		04.45		015			001 [
	りの経費(円)		214円		215円			221円						
	対象者1人													
A	当りの経費(円)	7# 10 H	「 │ 茅ケ崎で		コラフェ	横須	四士		ī	<u> </u>				
ベンチマーク	団体名	藤沢市	D オン阿I X		□ 逗子市 ○	(世紀								
(県内外自治体 や民間団体と		0	^		0		- 							
の比較値)														
指標		評価	年度	21年度	22年度	Ę	23年度		24年度		最	終年	度(年度)
まちづくり条例等の見直し			目標値				夕			1 / 2	42	V-1-	~ \	1 /2/
の目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		0		条例の見直し 見直し	条例の見 見直し		シ 条例の見直し							
中事業に会すれる		/m n.i *#*		兄但し	見し 見担し									

	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。					妥当性 事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法 的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。						
評価の視点	③有効性	事業の成果が後場合影響がある		か。事業を休止	上・廃止した					か。受益者は	•	平・公正か。	
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇 、	要改善=△(評価の視点を参照)) =	方向性		実・拡大 B: 現 合縮小 E: 廃		○:改善・見直し	
		811千円	①効率性	O ②妥当性	〇 ③有効性	E O ④公平性 C) ⇒	■A	□В	□C	□D	□E	
まちづくり推進事業		事業の概要	まちづくり条例等の見直し作業、まちづくり審議会の開催										
			①効率性	②妥当性	③有効性	4公平性	⇒	□А	□В	□С	□D	□E	
			①効率性	②妥当性	③有効性	4公平性	⇒	ΠA	□В	□C	□D	□E	
			①効率性	②妥当性	③有効性	4公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E	
		事業の概要											
			①効率性	②妥当性	③有効性	4公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E	
		事業の概要											
			①効率性	②妥当性	③有効性	4公平性	⇒	□A	□В	□c	□D	□E	
		事業の概要											

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)										
H22年度の課題	まちづくり条例及び開発事業等における手続及び基準等に関する条例等の改正に向け、抽出された課題に対する対応策及びどのような形態で市民参 画を求めていくかの検討が必要である。									
課題解決のための取組	改正骨子に対し、市民等への意見募集やまちづくり審議会において検討した。									
未解決の課題	まちづくり条例及び開発事業等における手続及び基準等に関する条例等の改正に向け、抽出された課題に対する対応策及びどのような形態で市民参 画を求めていくかの検討が必要である。									
今後の方針	庁内関係課と対応策を検討するとともに意見公募手続による意見聴取を行いながら改正手続を進める。									
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	Α	※ 口事業完了	課長名	征矢 剛一郎					

個別事業の概要 (単位:千円)

個別事業の概要							(単位:千円)
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業	の評価結果
			まちづくり審議会委員報酬	246		■適切	□見直し余地あり
			まちづくり審議会委員報償	15		■適切	口見直し余地あり
	+		まちづくり条例に基づく専門家派遣謝礼等	12		■適切	□見直し余地あり
	主な		岡本二丁目マンション計画外部調査対策委員会報償	0		□適切	■見直し余地あり
ナ4 ベルルサキ	個別		日本都市計画学会賛助会員会費				
まちづくり推進事 業	別			30		□適切	■見直し余地あり
未	事業		まちづくり審議会委員報酬	410		■適切	□見直し余地あり
	未	248	まちづくり審議会委員報償	25	7	■適切	□見直し余地あり
						口適切	□見直し余地あり
	主						
	ほぼ						
	主な個別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	+						
	主な						
	個						
	別						
	事						
	業						
				+		— ,≠≠ ru	
						□適切	□見直し余地あり
	±						
	主な						
	個別						
	別						
	事業						
	未						
				+		□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個						
	個						
	別事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個						
	個別						
	事						
	業						
						<u> </u>	